



平成19年度水道事業管理職事務研修会

(東京会場：9月18日～19日、大阪会場：9月27日～28日)

東京、大阪の2会場で102名(東京会場：44名、大阪会場58名)の参加を得て、「水道事業の現状と課題」「水道料金の理論と実践」「第三者業務委託の成否」「水道事業における民間的経営手法の概要及び税法改正に伴う減価償却費計算の変更」「水道事業の運営基盤強化—広域化事例・危機管理—」について研修を実施した。

第21回認証審査委員会(9月19日)

はじめに正副委員長の選出を行い、委員長に北海道大学大学院工学研究科教授松井佳彦氏、副委員長に福岡市水道局配水部節水推進課長の田原忠男氏が選出された。

つづいて前回議事録の確認後、①認証業務実施状況、②平成19年度登録維持料未納状況、③品質認証システム再開発の進捗状況について事務局より報告した後、川口試験所の視察を行った。

平成19年度未納料金対策実務研修会(東京会場第2回：9月20日～9月21日)

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々約70名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

JIS マーク表示制度認証授与式(9月21日)

積水化学工業(株)滋賀栗東工場、及び(株)キッツ伊那工場に関する初回認証判定について、適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第4回水道事業における調達方式のあり方に関する検討会(9月25日)

議題①「業務委託等検討小委員会最終報告(水道事業における業務委託の手引き—第1

次案一)」、議題②「調達方式検討小委員会最終報告（水道事業における調達方式の現状とあり方）」、議題③「総合評価導入検討小委員会最終報告（水道事業における総合評価導入に関する手引き）」について、それぞれ小委員会の委員長から報告があった。

審議の結果、各報告書（案）に一部修正を加えた後、公表することとなった。

なお、修正については、茂庭委員長及び各小委員会委員長に一任とされた。

また、各報告書の公表については、「水道事業における調達方式の現状とあり方」、「水道事業における総合評価導入に関する手引き」を10月中旬に日本水道協会ホームページへ掲載することとし、「水道事業における業務委託の手引き—第1次案—」は年内を目途に、印刷物を日本水道協会正会員及び賛助会員へ配布することとなった。



第20回水道 GLP 認定委員会（9月25日）

吹田市水道部の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第4回水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会（9月25日）

「水道送・配水管用無溶剤型二液エポキシ樹脂塗料（JWWA K 138）」の衛生性についての検討を開始した。

第857回会誌編集委員会（9月25日）

本誌10月、11月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第11回 ISO 審査登録センター・運営委員会（9月26日）

議題①副委員長の選出について、長岡東京都水道局浄水部長が選出された。また、議題②前回の議事録、議題③マネジメント・レビュー、内部監査、議題④品質マニュアルの改定、議題⑤事業計画について審議し、了承された。

第18回検査施行要項等専門委員会（9月27日～9月28日）

第1日目は、(株)キッツ長坂工場を視察し、水道用ステンレス製サドル付分水栓、水道用ステンレス製ボール止水栓及び水道用ステンレス鋼管継手の試験方法等について確認を行った。

第2日目は、以下の議題について慎重審議を行い、次回検査事業委員会に報告することとなった。

- ① 日本水道協会水道用ステンレス鋼管継手検査施行要項の改正について
- ② 日本水道協会水道用ステンレス製ボール止水栓検査施行要項の制定について
- ③ 日本水道協会水道用ステンレス製サドル付分水栓検査施行要項の制定について
- ④ 検査証明書に関する制度（諸様式に関する要綱）の改正について
- ⑤ 証明書発行方法変更に伴う PR 活動について
- ⑥ 検査制度の効率化に関する検討について

第1回水道用薬品類調査専門委員会（10月1日）

本委員会では、平成20年4月から塩素酸が水質基準に格上げされること等への対応として、「水道用次亜塩素酸ナトリウム（JWWA K 120）」について規格改正を開始した。規格改正にあたり、水道事業者の利便、活用を図るために、水道用次亜塩素酸ナトリウムの取り扱い方法、製品規格、及び購入仕様書例等を盛り込むこととした。

第21回認証制度運営委員会（10月1日）

はじめに正副委員長の選任を行い、委員長に北海道大学特任教授眞柄泰基氏、副委員長に東京都水道局総務部長鈴木孝三氏が選出された。

つづいて前回議事録の確認後、①認証業務実施状況、②平成19年度第1回内部監査結果、③第21回認証審査委員会審議結果、④平成19年度登録維持料未納状況、⑤品質認証システム再開発の進捗状況について事務局より報告した。

その後、①平成18年度認証業務決算、②平成20年度認証業務予算（案）について審議し、原案通り了承された。



平成19年度浄水場等設備技術実務研修会（第3回：10月1日～10月5日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作を実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

平成19年度配管設計講習会（10月3日～10月5日）

水道事業体職員又は設計業者等の経験の少ない水道技術者の方々61名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」について研修を実施した。



第613回抄録委員会（10月5日）

東京都水道局砧浄水場の膜処理施設などを視察し、その後、同浄水場会議室にて本誌平成20年1月号に掲載する外国文献の抄録内容及び平成19年12月号に掲載する海外文献目録について審議した。

